

太陽光発電の導入

2013(平成25)年4月、3工場

に太陽光発電を導入したのに続き、昨年までに6工場全部に設置した。合計380キロワットの発電能力があり、一般家庭50世帯相当の電力を発電している。地球温暖化にも貢献していることになる。夏季には工場の屋根が70度近くまで熱せられるが、発電パネルの影になり20度近く温度が下がるため、エアコンの効きが良くなる。これは大きな副産物だ。現在の発電量や売電料などは海外からでもスマホでチェックできる。



伊藤製作所社長

伊藤 澄夫 22

いと考えたのだろうが、売電価格が高すぎる点。売電する側からして、高い変えない。ただ、電力会社の販売価格

生施設に太陽光発電を設置する方針は過去にもこのような例はいくつもあつたが、当局は何も学習できていないようだ。

行政当局に物申す



工場の屋根に設置した
太陽光発電パネル

ほうが良いという理屈は私にどうしては理解できない。当局は自然エネルギー発電の早期の増設だけが頭にあり、高い電力料を負担する国民のことを考えていないのだ。

月に福利厚生施設が完成する。現生施設が完結する。現ら、パネルを生産する会社や取り付け業者が猫の手も借りたい状況だったこと。いつまでも繁栄が続けば良いが、山高ければ谷深し、と言われるようになつていて。現在メーカーの数は激減し、パネルの取り付け業者は廃業が続出している。

原発の代替として自然エネルギーの比率を上げることは国家の政策であるが、私は行政の判断に二つの疑問を持った。一つは民間に早期に導入させた

基盤技術高度化に関する法案などで、中小企業が補助金をいただけることはありがたいが、工作機械メーカーなどは同様に山谷に頭を抱えることになる。記憶から薄れそうだが、オイルショックの時期、大阪の誰かがトイレットペーパーがなくなるというデマを流した。国中の主婦がデパートで買いまくったその時期、妻に「そんなことはありえない。みつともない買い物をするなよ」と、言った記憶がある。案の定、買い占め後のトイレットペーパーはその後、長期間売れず、多くのメーカーは大減産となつた。済んだことは仕がないとして、当局には今後行政

が、福利厚生施設が完結する。現ら、パネルを生産する会社や取り付け業者が猫の手も借りたい状況だったこと。いつまでも繁栄が続けば良いが、山高ければ谷深し、と言われるようになつていて。現在メーカーの数は激減し、パネルの取り付け業者は廃業が続出している。

原発の代替として自然エネルギーの比率を上げることは国家の政策であるが、私は行政の判断に二つの疑問を持った。一つは民間に早期に導入させた